

私たちも国立ハンセン病資料館での 不当解雇の撤回を求めます



みなさまも署名にぜひご協力ください

賛同人（敬称略・順不同）

松丘保養園入所者自治会	自治会副会長	佐藤 勝
栗生楽泉園入所者自治会	自治会長	岸 従一
駿河療養所入所者自治会	自治会長	小鹿美佐雄
大島青松園入所者自治会	自治会長	森 和男
邑久光明園入所者自治会	自治会長	屋 猛司
菊池恵楓園		志村 康
奄美和光園入所者自治会	相談員	山田 祥
沖縄愛楽園自治会	自治会長	金城 雅春
『無菌地帯』著者、元全国ハンセン病療養所入所者協議会（全療協）嘱託			大竹 章
映画「あつい壁」「新・あつい壁」監督・脚本		中山 節夫
元「ハンセン病・国家賠償請求を支援する会」代表		田中 等

国公一般 国立ハンセン病資料館分会
<https://hansensdignity.com> twitter.com/hansensdignity



ホーム
ページ



Twitter

稲葉さんと大久保さんの 不当解雇を撤回し資料館に戻してください

日本財団理事長 殿
笹川保健財団理事長 殿

2020年3月、国立ハンセン病資料館の運営受託団体が代わるタイミングで実施された「採用試験」において、経験豊かな学芸員である稲葉上道さんと大久保菜央さんが「不採用」となりました。現職の学芸員に対して課されたこのような「採用試験」は、資料館の長い歴史のなかで一度も実施されたことはなく、ふたりの不採用に至る審査の経緯や理由については一切明らかにされていません。

ふたりの学芸員は、2019年9月に労働組合を結成し、資料館で常態化していたパワハラ、セクハラ、職場からのネグレクト（不当な排除）などの問題を内部告発していました。

この不採用は、採用試験に名を借りてなされた両財団による事実上の不当解雇です。ハンセン病資料館は、差別、隔離に苦しめられてきた当事者らがみずから作り上げ、国に存在を認めさせた、世界でも例のない博物館です。その使命は、人権や生命の尊厳を守り、国の過ちとハンセン病に対する差別、拒絶の歴史を記憶に留め、未来に伝えることです。

そのハンセン病資料館で人権侵害、差別、排除がおこなわれています。先人たちから受け継がれてきた信念が、魂が、踏みにじられています。こんなやり口を、見過ごすことはできません。

日本財団と笹川保健財団は、不当解雇を撤回し、直ちにふたりを元の職場に学芸員として戻してください。

名	前	住	所

※いただいた署名は、日本財団・笹川保健財団への要請以外には用いません。

呼びかけ団体

ハンセン病資料館
不当解雇学芸員を支援する会
against2020hansens-issues.info / against2020hansens.issues@gmail.com



国家公務員一般労働組合(国公一般)
〒105-0003 東京都港区西新橋 1-17-14
西新橋エクセルアネックス3F 国公労連内
TEL 03-3502-6363 / FAX 03-3502-6362